

別表十二(十一)

「10」欄に記載がある場合には、適用額明細書に以下の記載が必要です。

中部国際空港整備準備金の損金算入に関する明細書

事 業 年 度		・	・	法人名			
当 期 積 立 額		1			円		
内 訳	(1) のうち損金経理による積立額	2			円		
		(1) のうち剰余金の処分による積立額	3				
	空基積立限度額の取得価額算		4	累積限度基準額 <small>(平成25年4月1日を含む事業年度開始の時ににおける中部国際空港用地の帳簿価額)</small>			
		5	空港用地取得価額基準額 $(4) \times \frac{1}{10}$				
	積立限度額の計算	6	累積限度基準額残額 $(4) - ((11) - (14))$				
		7	所得金額総計 (別表四「45の①」)				
	積立限度額の計算	8	所得基準額 $(7) \times \frac{2}{3}$				
		9	積立限度額 ((5)、(6)と(8)のうち少ない金額)				
	当期積立額のうち損金算入額 (1)と(9)のうち少ない金額)		10				
	期首中部国際空港整備準備金の金額		11				
均等益金算入額		12	基準事業年度終了の日における中部国際空港整備準備金の金額				
均等益金算入額の計算		13	$(12) \times \text{—}$				
同上以外の場合による益金算入額		14					
計		15	計 $(13) + (14)$				
当期積立額のうち損金算入額		16	(10)				
期末中部国際空港整備準備金の金額		17	$(11) - (15) + (16)$				
貸借対照表に計上されている中部国際空港整備準備金		18					
差 引		19	$(18) - (17)$				
貸借対照表の取崩不足額		20	$(15) - ((1) - ((18) - \text{前期の}(18)))$				
積立限度超過額		21	$(1) - (9)$				
当期に生じた差額の合計額		22	$(20) + (21)$				
前期末における差額		23	(前期の(19))				

別表十二(十一) 令八・四・一以後終了事業年度分

「10」欄

中部国際空港整備準備金の損金算入を適用している場合

- ① 「租税特別措置法の条項」欄：「第57条の7の2第1項」
- ② 「区分番号」欄：「00481」
- ③ 「適用額」欄：「10」欄の金額